

## ハウステンボスとの I R 候補地の基本合意



昨年4月、本市は長崎県、ハウステンボスと三者でハウステンボスの土地と建物の一部(約31ha)を I R の候補地とすることについて基本合意しました。この合意によって国際会議場や展示場など国が要件とする I R 施設の建設に必要な候補地を確保したことになります。

### I R 区域の整備のための基本方針(案)

長崎県と本市で組織する I R 推進協議会が九州・長崎 I R の基本コンセプトなどをまとめた基本構想、および長崎県が I R 事業者を公募・選定するための方針などをまとめた実施方針(案)を本年4月に公表しました。

10月には国が I R 区域の整備のための基本方針(修正案)を公表し、収賄等の不正行為を防止するため、国や都道府県等が I R 事業者等と接触する際の厳格なルール(接触ルール)や新型コロナウイルスなどの感染症対策などが新たに追加されました。

今回追加された内容を含む懸念事項への対応については、今後しっかりと検討を重ねながら九州・長崎 I R を推進していきます。

## 九州・長崎 I R の懸念事項対策

I R による効果の一方で、依存症や青少年への影響、治安、組織犯罪などが懸念されます。これらに対し、「I R 整備法」と「ギャンブル等依存症対策基本法」に基づき、県と市が地域の関係団体と共にしっかりと対策に取り組み、「九州・長崎 I R 安全安心ネットワーク協議会」を新たに立ち上げ、地域環境の整備・維持に努めていきます。

### 依存症対策

- ・入場回数を連続する7日間で3回、28日間で10回に制限(※)
- ・入場料は1回当たり6千円
- ・本人や家族等からの申し出による利用制限

### 青少年対策

- ・20歳未満はカジノ施設への入場禁止(※)
- ・20歳未満へのカジノに関するチラシ等の配布・勧誘の禁止

### 治安対策

- ・暴力団関係者は入場禁止(※)
- ・I R 事業者によるカジノ施設やその周辺の監視・警備

### 組織犯罪対策

- ・免許制、事業者等の徹底的な背景調査など

### 感染症対策

- ・感染症対策を定めた計画策定の義務付け
- ※マイナンバーカードによる本人確認が必要。

## 未来に向かって！九州・長崎 I R を推進しています

本市では新たな雇用の創出や交流人口の拡大等を目指し、8つのリーディングプロジェクトの1つとして「I R (特定複合観光施設)の誘致」に取り組んでいます。ここでは I R がもたらす効果や主な懸念事項対策、I R 開業に向けたスケジュールなどについてお知らせします。

### I R を取り巻く社会環境

現在、本市では人口減少や若者の市外流出、所得の低迷などさまざまな課題に直面しており、解決に向けた対策が求められています。その対策の1つとして本市は長崎県と共に I R の誘致に取り組んでおり、世界から注目を集める国際的な観光都市となることで、これらの課題解決につながると考えています。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって日本経済も大きな影響を受ける中、これからの経済を立て直していくポストコロナ時代において、地方創生の起爆剤としての役割も期待されています。

I R はホテルや国際会議場・展示場、美術館・博物館、エンターテインメント施設などが一体となった観光施設で、民間事業者が設置・運営を行います。I R といえばよくカジノが連想されますが、カジノフロアは I R 施設全体床面積の3%以内と法令で厳しく制限されており、施設の大部分はビジネス客から家族連れまで、大人も子どもも安心して楽しめるリゾート施設となっています。

### I R (特定複合観光施設)



### I R がもたらす効果

I R がもたらす効果として、①地域経済の活性化②多様な雇用の創出③交流人口の拡大④定住人口の増加⑤財政基盤の強化などが期待されています。

I R の誘致によって、建設や観光・レジャー、施設運営、輸送など幅広い産業への経済波及効果が生まれ、これによって多様で質の高い雇用の場が確保できれば、若者の市内就職や UJI ターンによる定住人口の増加が期待でき

ます。また、食材や物資などが地元で調達されることも見込まれており、地元企業にとっては新たなビジネスチャンスが生まれます。さらに、大人も子どもも安心して楽しめる I R を誘致することができれば、本市を訪れる観光客も増加し、地域経済の活性化や交流による新たなにぎわいの創出も期待できます。加えて、I R 施設の運営によって本市への新たな収入の増加も見込まれており、その収入は教育や防災などの各分野における環境整備や社会福祉の増進、文化芸術の振興などさまざまな取り組みに活用することができます。

本市では 2020 年代半ば以降の開業を目指し、これからも長崎県と共に I R 誘致に取り組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### 九州圏内への経済波及効果(想定)

- ・集客延人数 年間約 690 ~ 930 万人
- ・雇用創出効果  
建設：約 6 万 3 千人 ~ 8 万 4 千人  
運営：年間約 2 万 8 千人 ~ 3 万 6 千人  
※「九州・長崎 I R 基本構想」による試算。

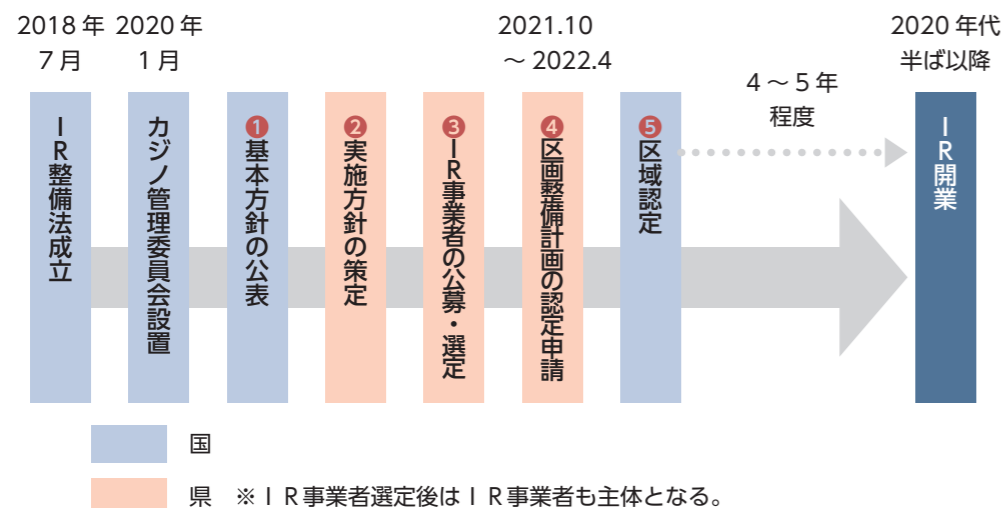
### I R 開業前後のシンガポールの事例



マリーナ・ベイ・サンズ

- ・外国人観光客 56% 増加 (968 万人 ⇨ 1510 万人)
- ・外国人旅行消費額 86% 増加 (1 兆円 ⇨ 1 兆 8600 億円)
- ・国際会議 23% 増加 (689 件 ⇨ 850 件)  
※数字は平成 21 年 ⇨ 平成 26 年。

## I R 開業に向けたスケジュール(想定)



- ① I R 区域整備の基本的な方向性を示します
- ② 申請する I R 区域の整備の意義や目標、民間事業者の募集選定などを定めます
- ③ 民間事業者から提案を募り、公平・公正に選びます
- ④ I R の位置や規模、事業内容など区域整備の具体的な計画をまとめて国へ申請します
- ⑤ 国が I R 区域を認定後、民間事業者が I R を建設し、開業します

この記事に関する問い合わせ I R 推進室 ☎ 24-1111